



天草

市政だより

日本の宝島 “天草”の創造を目ざして！

平成22年

11.1

No.110



「負けるもんか！それ引けー！」 中秋の月明かりのもとで綱引き

9月25日、赤崎グラウンドで「第5回赤崎地区三世交流十五夜大会」が開催され、地区住民約350人が参加しました。子どもからお年寄りまでが参加した“親子綱引き大会”では、観客から威勢の良い掛け声や歓声が上がると、参加者は力を込めて思い切り綱を引き合っていました（18ページに関連記事）。

主な内容

- みんなで考えよう、認知症のこと … 2～9
- 市・県民税に関するご質問にお答えします！ … 10～11
- 議会報告 … 12～14
- 宝島のわだい … 15～19
- みんなの広場 … 20～23

第1章 一学ぶ一

認知症の症状

認知症の症状には、覚えられ

このほかにも、認知症を引き起こす病気は数多くあり、日本では200万人以上の認知症患者がいるといわれています。

認知症とは？

認知症は、脳がつかさどっている記憶や感覚、思考、感情、体全体の調節といった、生きていくために必要な脳の一部の働きに障がいが起こり、日常生活をするうえで支障が出ている状態のことをいいます。

認知症を引き起こす病気のうち代表的なものは、脳の細胞が少しずつ死んでしまい、脳全体が縮んでいく「アルツハイマー型認知症」です。また、脳梗塞や脳出血など、脳の中にある血管が詰まったり切れたりして、その部分に栄養や酸素が行き渡らないことで脳細胞が死んだり、働きが悪くなってしまうことが原因による「脳血管性認知症」があります。

普通のもの忘れと認知症のもの忘れは違います！

●普通のもの忘れ

食べた食事のメニューや約束の日時が思い出せない（正常な老化現象）。

●認知症が疑われるもの忘れ

食事をしたことや約束したこと、それ自体を忘れてしまう。

ない、すぐ忘れてしまうなどの「記憶障害」や、時間・場所・人がわからなくなる「見当識障害」、物事を理解・判断することができなくなったり、日常生活に必要な作業がこなせなくなったりするなどの「実行機能障害」があり、これらを「中核症状」といいます。

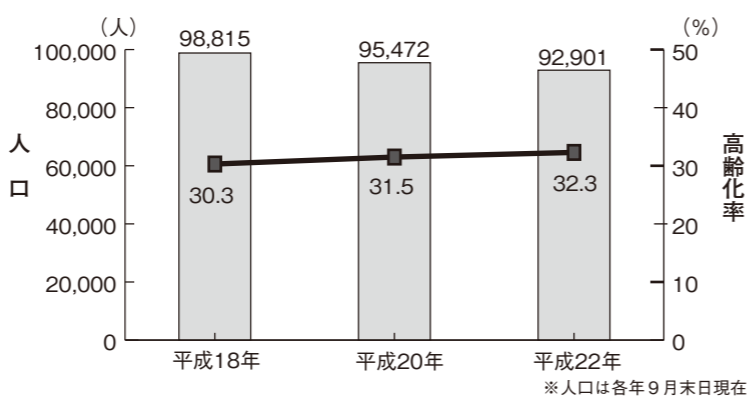
また、この中核症状がもとになり、本人の性格や素質、周囲の環境や人間関係、介護の受け方などが影響して自信を失い、すべてが面倒になるなど、日常生活の中で行動や態度としてあらわれる「行動・心理症状（BPSD）」があります。

市を取り巻く状況

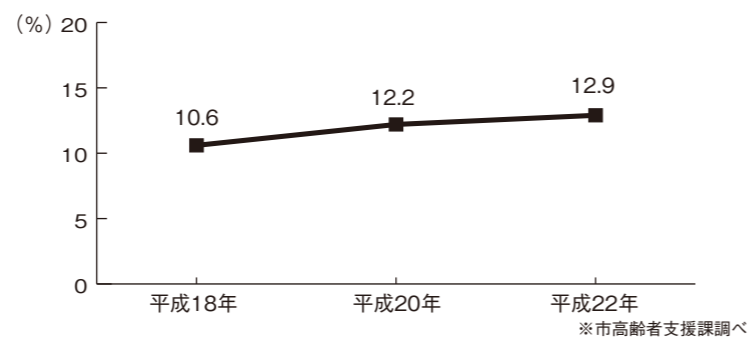
市の人口は平成18年以降、毎年約1,500人のペースで減少する中、高齢化率（総人口に占める65歳以上の人の割合）は30%を超え、増加の一途をたっています（別表1参照）。

また、65歳以上の人に占める介護保険認定者における、認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱ

■市の人口と高齢化率の推移



■65歳以上の人に占める、介護保険認定者における認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱ以上の割合



（たびたび道に迷う、電話対応やひとり留守番ができないなど）以上の割合も増加傾向にあることから（別表2参照）、今後、高齢化がさらに進むうえ、介護や支援を必要とする認知症高齢者も増加することが予測されています。このような状況を踏まえ、私たちは認知症について正しく理解し、適切に対応をしていかなければならない時期にきているといえるのです。

～みんなで考えよう、認知症のこと～

いよちの光輝きをありがとう

市内に住む65歳以上の人口は29,977人（9月末日現在）で、約3人に1人が高齢者という“超高齢社会”にあります。このような中、高齢者を取り巻く重要な課題のひとつに「認知症」の存在を忘れてはなりません。そこで今号では、誰にでも起こりうる「認知症」について考えていきます。



認知症サポーター養成講座を受講後、介護予防ボランティア応援隊員の指導のもと、ボール遊びを行う新和町棒の鶴地区老人会の皆さん。

かんたん!脳を活性化させるあれこれ

脳を活性化させるということは、脳に刺激を与えるということ。次に紹介する方法は、日常生活を行ううえで比較的取り入れやすい方法です。皆さんも、意識的に脳の活性化に取り組んでみませんか。



・手書きで思いをつづる。



・買い物をするときに簡単な暗算をしたり、値札でごろ合わせをして数字遊びをする。



・髪型や服装をいつもと変えてみる。

Interview

“脳がいきいき”の秘けつを聞く!



小場 トサ さん
(牛深町・93歳)

「今日のうちに明日のことを考える」

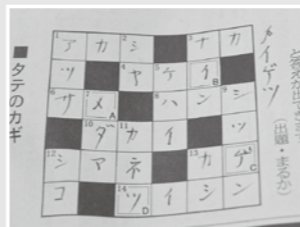
牛深町に住んでいる小場トサさんは93歳。耳が少し遠くなったとのことですが、毎日手芸作りを楽しむなど、いきいきとした脳の持ち主です。そんなトサさんに、日ごろの生活などについて聞きました。

●日ごろはどのような生活をされていますか？

掃除や洗濯は毎日自分でやっています。また、植木の手入れも欠かさずやっていますね。そして、化粧も毎日するようにしています。

●楽しみは何ですか？

新聞のコラム欄を読むのが楽しみです。この新聞には、毎週日曜日にクロスワードパズルが掲載されていて、いつも挑戦するようにしています。



●脳がいきいきとする秘けつは？

前向きに考え、後ろを振り向かないようにしています。また、今日のうちに明日のこと、今年のうち次年度のすることを考えるように心がけていることが、良いのかもしれませんが。

「アルツハイマー型認知症」についてはまだ原因がよくわかっていませんが、脳の中に異常なたんぱく質がたまりだすことが、原因のひとつとされています。これまでの調査などで、ナッツ類などに多く含まれるビタミンEや、魚油の成分であるDHA（ドコサヘキサエン酸）などの抗酸化物質が、この異常なたんぱく質がたまるのを阻止する

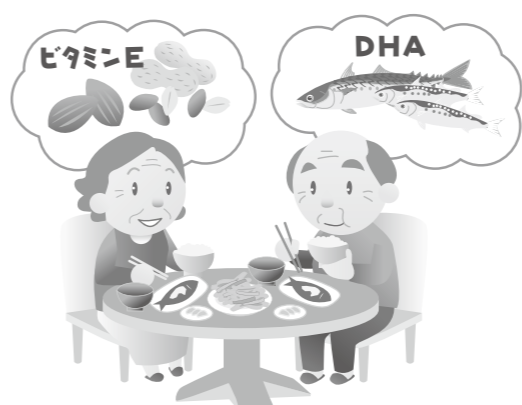
日ごろの食生活や生活習慣も大事

残念ながら、認知症の多くは完治が望めないといわれています。それでも進行を遅らせたり、部分的とはいえ症状を改善することは可能であり、中には治療や発症を予防できる認知症もあります。しかし、たとえ治る認知症であっても、治療が遅れば完全に元には戻りません。人間としての尊厳を保つための大切な機能を持つ脳の病気だからこそ、早く気づいて、早く手を打つことが大切なのです。

大切なのは早期発見・早期治療

ることに有効であるといわれています。

一方、脳梗塞や脳出血がもとで起こる「脳血管性認知症」。脳梗塞は生活習慣と関わりが深い病気であり、高血圧、糖尿病、脂質異常症が大きな要因となることから、ふだんから多様な食品を使ったバランスのよい食事を適量とり、減塩に心がけることが結果的に認知症の予防につながります。また、脳を活性化させるための適度な運動なども、認知症予防に有効であるといえます。



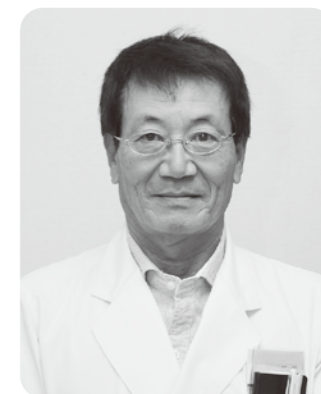
「熊本県認知症疾患医療センター」をご存じですか？

県では、認知症の早期発見や診療体制の充実、専門医療相談の充実を図ることなどを目的に、県内の8つの医療機関に「認知症疾患医療センター」を設置しており、天草市内では天草病院（佐伊津町）が指定を受けています。

「最近物忘れをするようになった」「近ごろ、性格が変わったような感じがするが、認知症の始まりなんだろうか」「認知症と診断を受けてしまったけれど、これからどうしていけばいいのだろう」など、認知症に関する悩みや心配事はありますか。

天草病院では、平成21年7月に熊本県認知症疾患医療センターの指定を受けました。認知症者の早期発見、鑑別診断、行動障害の治療などを目的に、ご本人やご家族のほか、医療・福祉関係機関からの相談も受け付けています。

また、物忘れ外来を毎週水曜日の午後1時から行っています（電話での予約制）。お気軽にご相談ください。



天草病院
宮川 民平 院長

【問い合わせ先】天草病院 ☎6111

第2章 一思い一



▲夫婦の日課である、「山歩き」。その道中、すれ違う人たちと笑顔であいさつを交わす宮崎さん夫婦

思い

もし、自分の愛する人が認知症と診断されたら、あなたは どうしますか。そして、これから待ち受ける介護という生活を思うとき、あなたはどこに、誰に、何を求めますか。一方、このような人たちを前にして、周りにいる私たちには何ができるでしょうか。宮崎修さん・記代子さんご夫婦が、これまでに歩んできた8年間のうちに、その答えはありました。



やされ、元気を取り戻していったという。
一方、このような組織の重要性を再認識した記代子さんは、平成20年に「天草認知症家族の会」の設立に参加。現在は、同会の代表を務めている。記代子さんは、「この会の活動を、多くの認知症の人やその家族に知ってほしい」と話す。

地域の人たちの支えが 何よりうれしい

記代子さんは、修さんが認知症であることをより多くのの人に知ってほしいと考えている。こ

れは、認知症を正しく理解してもらうだけでなく、周囲の人たちからの支えや力添えも必要であると感じているからだ。このため、修さんの症状については、地域の人たちにいつも話しをするようにしているほか、思いを市内外に広く伝えようと、講演活動にも取り組んでいる。

また、9月にはみずからの思いをつづった手記も出版した。「介護をする側にとっては、どうしても地域の中で疎外感を感じてしまう面がある。このような状況の中、地域の人たちから声をかけてもらうことは何よりうれしい」と記代子さんは話す。

悔やまれる2年という月日

志柿町に住む宮崎修さん・記代子さん夫婦。修さんは平成14年5月、60歳のときにアルツハイマー病（若年性認知症）の中期と診断された。認知症の兆候があらわれたのは平成13年、1日中野山を歩いたり、無口で消極的な日々が続いたりしたうえ、「死にたい」とつぶやくようになったことだ。記代子さんは医師の診察をすすめたが、本人は拒否。その後、記代子さんも受診を強制することはなかったという。そして、月日を重ねるうちに場所や時間、日にちがわからなくなるほか、人との会話も成立しなくなるなど、明らかな変調が見られ始めた修さん。ある日、見たこともないほどの険しい表情で、記代子さんを怒鳴りつけるという事件が起きる。「異常だと思い、すぐ保健所に連絡しました」。そこで、初めて医師の診察を受けることになる。修さんが「死にたい」とつぶやくようになってから、すでに2年がたっていた。記代子さんは、「今感じるこ

心は生きている

絵を描くことが趣味の記代子さんは、時間があれば描いているという。その作品の中に書かれていた文章の一節に、こんな言葉があった。いのちの輝きをありがとう。出版した本のタイトルにもなっているこの言葉は、修さんに贈ったメッセージだ。「夫の病状を公表することや家族の会で日ごろの悩みを打ち明けることは、夫のためだと思っているが、実はそれ以上に私のためでもある。そういう意味で、夫は一番の協力者であり、理解者だから」と記代子さん。

先日、記代子さんが体調を崩して寝込んだときも、修さんは記代子さんに寄り添い、手を握り

とは、夫が受診を拒否していても、医療・福祉関係の人に相談をして、自宅で面会するなどしていれば、何らかの策を打つことができたのでは」と悔やんでいる。そのうえで、「現在はあるの忘れ外来などもある。ささいなことでも、おかしいと思ったら受診すべき」と話す。

同じ思いを持つ 人たちのつながり

修さんが認知症と診断されたことは、同時に記代子さんによる夫への介護の始まりでもあった。夫への介護で心労を重ねる毎日に、記代子さんは「夫と同じ病気の人と話をさせたい。私も介護者どうしで悩みを話し励ましあいながら、情報交換をしたい」という思いを抱くようになる。

そんな中、県に「認知症家族の会」という団体があることを知る。「この組織を探し当てるまでに4年。初めて参加したときは、これまでの思いを洗いざらい打ち明けました」と記代子さん。この会に参加するようになってからは、しだいに心もい



▲記代子さんが描いた作品

ながら「大丈夫かい、大丈夫かい」と繰り返し声をかけてくれたという。

心は生きている。当然のことではあるが、記代子さんは改めてそう感じた話す。「たとえ寝たきりの生活になっても、工夫して、夢を描いて、たくさんの幸せを発見できるように、夫といっしょに暮らしていきたい」と記代子さん。「いい奥さんですね」。その問いかけに対して、修さんは満面の笑みで「そうですね」と答えてくれた。

天草認知症 家族の会

「天草認知症家族の会」では、認知症の人やその家族が抱えている悩みや、認知症に関する情報交換を目的に、毎月1回交流会を開催しています。また、認知症に関する各種相談も受け付けていますので、お気軽にご相談ください。

詳しいことは、同会へお尋ねください。

【問い合わせ先】
天草認知症家族の会
代表 宮崎記代子
☎0063

第3章 一支援合う一

私たちも応援します！



あまくさ
認知症を地域で支える会
濱中 美和子 会長

私たちの会は、医療・保健・福祉などの専門職によるボランティアの会です。認知症サポート体制の拠点として、認知症の人やその家族を地域で支えるための啓発活動に力を入れています。

認知症の人の家族に対しては、在宅で介護をしていることで、さまざまな困難や葛藤を抱えていることを地域で理解していきましょう。

認知症の人やその家族の多くは、自分の住みなれた家や地域で変わらずに暮らしていくことを願っています。しかし、一般的に認知症の人に対しては「何もわからない」「何もできない」というイメージが強く、認知症になったら「恥ずかしい」「おしまいだ」などと偏見を持っている人が、今でも少なくありません。ただ、すべてがなくなってしまうわけではなく、認知症の障がいによってその人の一部が失われているだけなのです。その失われた一部を、私

地域全体で

支えることの大切さ

ちが支えていくことができないでしょうか。
今、認知症の人やその家族を地域全体で見守り支える意識やしくみが求められています。そのためには、地域に住む1人ひとりが認知症を正しく理解すること、認知症の人を地域の一員として受け入れることが大切です。そして、その思いや行動が、認知症の人やその家族を、地域全体で見守り、支えていくことになるのです。
『認知症』それは誰にでも起こりうる可能性がある病気です。あなたも認知症の人や家族を支えるために、一歩を踏み出してみませんか。



支援合う

認知症のこと、悩まず、まずは相談

■市の認知症の相談窓口

市では、認知症に関する各種相談を受け付けています。最寄りの各地域包括支援センター・サブセンターへお気軽にご相談ください。また、6月に県の指定を受けて「認知症対応強化型地域包括支援センター」を天草南包括支援センター内に設置しました。

- 天草南包括支援センター（認知症対応強化型地域包括支援センター併設・亀場町）☎24115
- 天草中央地域包括支援センターなでしこ（今釜新町）☎669300
- 天草北地域包括支援センターきずな（五和町）☎32115
- 天草西地域包括支援センターさざんか（河浦町）☎761611
- 天草牛深地域包括支援センターすいせん（牛深町）☎721133
- 天草東地域包括支援センターあじさい（栖本町）☎662266
- 御所浦サブセンター（御所浦町）☎671777

■県の相談窓口

- 熊本県認知症コールセンター☎096(355)1755
(水曜日を除く、午前9時から午後6時まで)



認知症の人を支えること、始めませんか ～市の取り組みを紹介～

■認知症サポーター養成講座

- 内 容＝キャラバンメイト（講師）の講話、認知症の基礎知識・認知症者への対応のしかたなど。
- 対 象＝参加人数がおおむね20人以上の団体など。
- 料 金＝無料。

■オレンジネットワーク事業

- 内 容＝認知症状がある人が行方不明になったとき、警察からの要請情報などをメール配信で呼びかけるもの。また、市が主催する認知症講演会などの情報も配信します。利用には事前に会員登録が必要です。
- 登録方法＝パソコンなどで次のメールアドレスに空メールを送信するか、携帯電話で

下のQRコードを読み取り、空メールを送信すると登録ができます。

※登録終了後、該当する事項があった場合、市から随時配信します。

※通信料は自己負担になります。

【メールアドレス】

re-amakusa-ninti@amakusa-web.jp

【QRコード】



■認知症講演会を開催します

- と き＝11月21日⑩午後1時30分から。
- と ころ＝新和町民センター大会議室。
- 講 師＝熊本大学医学部附属病院・矢田部裕介医師。

※申し込み方法などの詳細は、本庁・高齢者支援課地域支援係☎21111内線1198へお尋ねを。

市・県民税に関するQ&A ご質問にお答えします!

税金は、私たち国民が豊かで安心した暮らしができるように、国や地方公共団体が活動するための大切な財源です。

11月11日から同17日までは、「税を考える週間」です。これは、税のしくみや目的などを皆さんに正しく理解してもらおうと設けられているものです。今回は、皆さんから市に多く寄せられる市・県民税（住民税）の疑問・質問にお答えします。

Q 私の夫は、平成22年8月に死亡しましたが、同年中に夫が得た所得に対する市・県民税はどうなるのでしょうか？

A 市・県民税は、毎年1月1日現在で住所がある人に対して、その住所地の市区町村で課税されますので、平成22年中に死亡された人に対しては、平成23年度の市・県民税は課税されません。一方、同22年度分については、死亡された人の相続人が納税の義務を引き継ぎ、市・県民税を納めていただくことになります。

今年亡くなった人の平成23年度の市・県民税は？



「収入」と「所得」はどう違うの？



Q 先日、所得証明書を交付してもらったところ、「収入」と「所得」という記載がありました。どう違うのでしょうか？

A 例えば、事業を行っている場合、その事業で得た収入から事業に必要な経費を差し引いた金額が利益となりますが、この必要経費を引く前の金額が「収入金額」、引いた後の金額が「所得金額」となります。なお、給与収入や公的年金などの収入は、必要経費を特定することが難しいので、収入金額から収入金額に応じた一定金額を差し引いて、所得金額を計算することになっています。

今年は働いていないのにどうして？



Q 私は昨年（平成21年）の12月末で退職したため、今年（同22年）は無収入ですが、市・県民税の納税通知書が送られてきました。納付しなければならないのでしょうか？

A 市・県民税は、前年中（1月1日～12月31日）の所得に対して課税されます。今回送付した納税通知書は、平成21年中の所得に対して課税し、平成22年度分の市・県民税として通知したものです。各納期限までに納付してください。なお、今年の収入がない場合、来年度の市・県民税は課税されません。

Q 健康保険の扶養に入っているけど、市・県民税の扶養に入れない場合があると聞きました。要件が違うのでしょうか？

A 市・県民税は合計の所得金額が38万円以下（給与収入で103万円以下）の親族の人で、ほかの人の扶養を受けていなければ、扶養に入ることができます。しかし、健康保険の扶養の要件には別の基準があり、健康保険の扶養に入っているからといって、市・県民税でも扶養に入ることができるとは限りません。健康保険の扶養の要件についての詳細は、ご自身が加入している健康保険の担当者にご確認ください。なお、市・県民税の扶養に入っているけど、所得金額が28万円（給与収入で93万円）を超える場合は、市・県民税が課税される場合がありますので、ご注意ください。

市・県民税の扶養の要件と、健康保険の扶養の要件は違うの？



Q 私は、平成22年1月20日に天草市からほかの市区町村へ引っ越しました。同22年度の市・県民税はどの市区町村へ納めるのでしょうか？

A 市・県民税は、毎年1月1日現在で住所（住民票）のある人に対して、その住所地の市区町村が課税することになっています。平成22年1月1日現在では、あなたの住所（住民票）は天草市にあったのですから、その後ほかの市区町村に引っ越したとしても、平成22年度分の市・県民税は天草市に納めていただくことになります。

ほかの市区町村へ引っ越した場合の市・県民税の納税先は？



【問い合わせ先】本庁・市民税課市民税係 ☎231111内線1143

■租税教室を開催します。

天草税務署では、各地区や各種団体、給与所得者や児童・生徒などを対象に、「租税教室」を開いています。希望する内容や日程にあわせて、税務署の職員または税理士が講師としてうかがいますので、お気軽にお申し込みください（夜間の実施でも可能です）。希望する場合は、天草税務署 ☎231110へご連絡ください。

■年末調整説明会を開催

12月は、給与などにかかる源泉所得税の年末調整の月です。毎月の給与などから源泉徴収された所得税の一年間の合計額と、その年の給与総額に対する年税額とは一致しないのが普通です。このため、源泉徴収税額の過不足分を精算する必要があります。この手続きを「年末調整」と呼びます。大部分の給与所得者は、年末調整により、その年の納税を完了することになりますので、年末調整が正しく行わ

れるためには、勤務先に扶養親族や保険料などの申告を正しく行うことが大切です。天草税務署では、次の日程で年末調整説明会を開きます。

- 日程Ⅱ 11月17日（土）午後2時～同4時、牛深総合センター
- 日程Ⅰ 11月18日（日）午前10時～正午と午後2時～同4時、天草市民センター。

※詳細は天草税務署 ☎231110へお尋ねください。

■「税を考える週間」

記念講演会を開催

天草地区税務協力団体長連絡協議会では、「税を考える週間」にあわせて記念講演会を開催します。当日は、中学生や高校生から募集した税に関する作文の入賞者の表彰・発表も実施します。入場は無料です。

●ときⅡ 11月16日（土）午後1時30分～同3時30分。

●ところⅡ 天草信用金庫本店・5階ホール（太田町）。

●演題Ⅱ 「働く心」。

●講師Ⅱ 吉住明海氏（慈明院名誉住職）。

※詳細は（株）天草法人会事務局 ☎234339へお尋ねを。

一般会計補正予算など57議案を議決

平成22年第4回市議会定例会が9月7日から22日間の日程で開かれ、天草市児童館のほか各施設の使用料に関する規定などを改める条例の制定や、歳入歳出の予算総額にそれぞれ20億3,029万円を増額し、522億8,806万円とする平成22年度天草市一般会計補正予算(第3号)など56議案がいずれも原案のとおり可決されました。また、人権擁護委員の候補者の推薦についても同意され、同28日に閉会しました。

可決された議案

- ▼天草市職員勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について——育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の一部改正に伴うもの。
- ▼天草市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について——地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴うもの。
- ▼天草市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について——非常勤消防団員などに係る損害補償の基準を定める政令の一部改正に伴うもの。
- ▼天草市倉岳地域福祉センター条例を廃止する条例の制定について——倉岳地域福祉センターを廃止するもの。
- ▼天草市一般住宅条例の一部を改正する条例の制定について——改正する条例の制定について——使用料に関する規定を改めるもの。
- ▼天草市児童館条例の一部を改正する条例の制定について——使用料に関する規定を改めるもの。
- ▼天草市児童館条例の一部を改正する条例の制定について——使用料に関する規定を改めるもの。
- ▼天草市老人福祉センター条例の制定について——老人福祉センターに関する条例を統合し、あわせて使用料に関する規定などを改めるもの。
- ▼天草市在宅介護支援センター施設条例の一部を改正する条例の制定について——使用料に関する規定を改めるもの。
- ▼天草市河浦生活支援ハウス条例の一部を改正する条例の制定について——施設の管理に関する規定を改めるもの。
- ▼天草市新和高齢者生活福祉センター条例の一部を改正する条例の制定について——使用料に関する規定を改めるもの。
- ▼天草市立本渡看護専門学校条例の一部を改正する条例の制定について——使用料に関する規定などを改めるもの。
- ▼天草市倉岳農産物集出荷施設条例の一部を改正する条例の制定について——使用料に関する規定を改めるもの。
- ▼天草市多目的集会所条例の一部を改正する条例の制定について——使用料に関する規定を改めるもの。
- ▼天草市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について——使用料に関する規定を改めるもの。
- ▼天草市市民館条例の一部を改正する条例の制定について——使用料に関する規定を改めるもの。
- ▼天草市公民館条例の一部を改正する条例の制定について——使用料に関する規定を改めるもの。
- ▼天草市町民センター条例の一部を改正する条例の制定について——使用料に関する規定を改めるもの。
- ▼天草市ふれあいセンター条例の一部を改正する条例の制定について——使用料に関する規定を改めるもの。
- ▼天草市勤労青少年ホーム条例の一部を改正する条例の制定について——使用料に関する規定を改めるもの。
- ▼天草市体育館条例の一部を改正する条例の制定について——使用料に関する規定を改めるもの。
- ▼天草市牛深総合体育館条例の一部を改正する条例の制定について——使用料に関する規定を改めるもの。
- ▼天草市牛深総合センター条例の一部を改正する条例の制定について——使用料に関する規定を改めるもの。
- ▼天草市市民センター条例の一部を改正する条例の制定について——市民センターの施設のうち体育館を廃止し、あわせて使用料に関する規定を改めるもの。
- ▼天草市牛深総合センター条例

- ▼天草市農山漁村広場条例の一部を改正する条例の制定について——使用料に関する規定を改めるもの。
- ▼天草市本渡農事研修センター条例の一部を改正する条例の制定について——使用料に関する規定を改めるもの。
- ▼天草市新和小宮地区農業構造改善センター条例の一部を改正する条例の制定について——使用料に関する規定を改めるもの。
- ▼天草市魚貫町交流促進センター条例の一部を改正する条例の制定について——使用料に関する規定を改めるもの。
- ▼天草市中之浦地区高齢者活動促進施設条例の一部を改正する条例の制定について——使用料に関する規定を改めるもの。
- ▼天草市大江シルバーク뮤니ティセンター条例の一部を改正する条例の制定について——使用料に関する規定を改めるもの。
- ▼天草市新和ひだまり館条例の一部を改正する条例の制定について——使用料に関する規定を改めるもの。
- ▼天草市水産研究センター条例の一部を改正する条例の制定について——使用料に関する規定を改めるもの。
- ▼天草市漁業集落住民共同利用施設条例の一部を改正する条例の制定について——使用料に関する規定を改めるもの。
- ▼天草市五和海洋レジャーセンター条例の一部を改正する条例の制定について——使用料に関する規定を改めるもの。
- ▼天草市美来プラザ条例の一部を改正する条例の制定について——使用料に関する規定を改めるもの。
- ▼天草市天草宝島国際交流会館ポルト条例の一部を改正する条例の制定について——使用料に関する規定を改めるもの。
- ▼天草市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について——使用料に関する規定を改めるもの。
- ▼天草市市民館条例の一部を改正する条例の制定について——使用料に関する規定を改めるもの。
- ▼天草市公民館条例の一部を改正する条例の制定について——使用料に関する規定を改めるもの。
- ▼天草市町民センター条例の一部を改正する条例の制定について——使用料に関する規定を改めるもの。
- ▼天草市ふれあいセンター条例の一部を改正する条例の制定について——使用料に関する規定を改めるもの。
- ▼天草市勤労青少年ホーム条例の一部を改正する条例の制定について——使用料に関する規定を改めるもの。
- ▼天草市体育館条例の一部を改正する条例の制定について——使用料に関する規定を改めるもの。
- ▼天草市牛深総合体育館条例の一部を改正する条例の制定について——使用料に関する規定を改めるもの。
- ▼天草市牛深総合センター条例の一部を改正する条例の制定について——使用料に関する規定を改めるもの。
- ▼天草市市民センター条例の一部を改正する条例の制定について——市民センターの施設のうち体育館を廃止し、あわせて使用料に関する規定を改めるもの。
- ▼天草市牛深総合センター条例

宝島の わだい



「ぱしふいっくびいなす」が寄港 牛深

豪華客船が牛深に！

10月3日、乗客約400人を乗せた豪華客船「ぱしふいっくびいなす」が牛深港に寄港しました。この客船は、全長183.4メートル、総トン数26,594トンで、国内の客船としては2番目の規模を誇ります。通算3度目の寄港となる今回は、(株)天草宝島観光協会の誘致により、種子島や天草を巡るツアーとして県外の旅行業者が企画したものです。この日乗客らは、天草1周コースをはじめ市内各地を巡る5つのコースにわかれて島内を観光。また、牛深港周辺では物産市や牛深ハイヤの競演が行われ、乗客もいっしょになって牛深ハイヤ踊りを踊るなど、楽しいひとときを過ごしていました。その後、出港時には地元の漁船団が海上パレードで船を見送りました。



▲寄港した「ぱしふいっくびいなす」



▲牛深ハイヤ踊りを
楽しむ乗客たち



▲勲章を手にする堀田氏

堀田善久氏がメ리트勲章を受章 本渡

ポルトガルとの交流に尽力

10月5日、城下町の堀田善久氏がポルトガル共和国のメ리트勲章を受章しました。これは、天草日本ポルトガル協会の会長を務める堀田氏が、長年にわたり同国との交流に尽力した功績が高く評価されたもの。この日は、(仮称)県ポルトガル協会の設立発起人会に出席するため、熊本市を訪れていたジョアン・ペドロ・ザナッティ駐日ポルトガル大使が勲章を伝達。堀田氏は「思いもよらないことで驚いている。天草の人たちにとって、ポルトガルとの交流の記憶がよみがえるきっかけになれば」と語っていました。

- の一部を改正する条例の制定について——使用料に関する規定を改めるもの。
- 天草市天草文化交流館条例の一部を改正する条例の制定について——使用料に関する規定を改めるもの。
- 工事請負契約の締結について——本渡地区水産物荷さばき施設新築工事に係る契約を締結するもの。
- 天草広域連合の処理する事務の変更及び規約の一部変更について——天草広域連合が処理する事務を変更するもの。
- 天草市過疎地域自立促進計画の策定について——過疎地域自立促進特別措置法の規定により定めるもの。
- 字の区域の変更について——県営羊角湾周辺2期地区中山間地域総合整備事業(深海町前田地区)に伴うもの。
- あらたに生じた土地の確認について——公有水面埋立て(魚貫町)に伴うもの。
- 字の区域の変更について——公有水面埋立て(魚貫町)に伴うもの。
- 市道路線の廃止及び認定について——廃止する路線・1路

- 線、認定する路線・2路線。
- 和解及び損害賠償の額の決定について——運動公園施設内で発生した事故について和解するもの。
- 平成22年度天草市一般会計補正予算(第3号)——赤潮被害対策に伴う事業費など、歳入歳出の予算総額に20億3,029万円を増額し、522億8,806万円とするもの。
- 平成22年度天草市老人保健医療特別会計補正予算(第1号)
- 平成22年度天草市介護保険特別会計補正予算(第1号)
- 人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて——委員に宮下正利氏(二浦町亀浦1583番地)を推薦することに同意。

同意された議案

継続審査となった議案

平成21年度天草市一般会計歳入歳出決算の認定について(ほか19件)。

決算特別委員会を設置！

一般会計、特別・企業会計の決算を審査する特別委員会が設置されました。各委員会の委員については次のとおりです(敬称略)。

■一般会計決算特別委員会

- ◎委員長=池田裕之 ○副委員長=楠本千秋
- ▶委員=鶴戸継啓、福嶋啓子、黒田忠広、古賀源一郎、勝木幸生、蓮池良正、中村三千人、赤木武男、平山泰司、吉川徳澄、濱崎昭臣、池田次人

■特別・企業会計決算特別委員会

- ◎委員長=若山敬介 ○副委員長=濱洲大心
- ▶委員=奈良崎利幸、浜崎義昭、宮下幸一郎、船辺修、鎗光秀孝、田中茂、脇島義純、中村五木、大塚基生、江浦政巳、北野鋼一

【問い合わせ先】本庁・議会事務局議事調査係 ☎②1111内線1302

報告された事項

- 消費税率を引き上げないための意見書の提出に関する請願書
- 平成21年度決算に係る財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告について——地方公

不採択となった請願

消費税率を引き上げないための意見書の提出に関する請願書

市議会定例会についての詳しいことは、本庁・総務課総務法制係 ☎②1111内線1214へお尋ねください。

共同体の財政の健全化に関する法律第3条第1項及び第22条第1項の規定により報告するもの。

わだいの



▶綱引き競技のようす



▶「倉岳音頭」を踊る参加者



倉岳町町民体育祭 倉岳

町民の団結と融和を深める

町内15地区の対抗による「倉岳町町民体育祭」が10月10日、倉岳総合グラウンドで開催され、町民約1,300人が参加しました。この日は、倉岳小学校・鼓笛隊の演奏で入場行進を行ったあと、棚底3区の中上慎哉君と藤本美咲さんが、力強く選手宣誓。その後、綱引きや縄跳び、総力リレーなどの競技が行われ、選手たちは熱戦を繰り広げていました。また、開催40回の節目を記念して、伝統の倉岳音頭も実施。参加者の輪がグラウンドいっぱいに広がり、町民の団結と融和を深めました。

市内の中学3年生が硬式野球の練習 本渡・有明

硬式野球の感覚をつかめ！

9月から12月までの毎週土・日曜日に、市内各中学校の3年生を対象に、硬式野球の指導教室が開かれています。これは、中学生が高校へ進学後、スムーズに硬式野球に取り組めるように、天草郡市中学生硬式野球倶楽部が3年前から市内各地のグラウンドなどで開催しているもの。10月2日には広瀬公園野球場で練習を行ったほか、同16日には天草東高校グラウンドで熊本市内のチームと練習試合を実施。生徒は、「技術面は負けていないと感じた」と話していました。同倶楽部の江崎憲二さんは、「天草にある高校が、3年以内に甲子園で試合をする日が必ず来る」と力強く語っていました。



▲熱戦を繰り広げた練習試合



◀コーチの指導を熱心に聞く生徒たち

天草西海岸陶芸まつり 天草

天草陶磁器を堪能！

10月7日から11日まで、「天草西海岸陶芸まつり」が、天草町と天草郡苓北町にある11窯元で開催されました。これは、同町内の窯元などで作る天草陶石研究開発推進協議会が毎年開いているもので、今年で22回目。各会場には、上品な白磁や温かみのある焼き物のほか、天草陶石の素材をいかした石材などを展示・販売。来場者は、各窯元特有の焼き物を手に取り、真剣なまなざしで品定めしながら、国の伝統的工芸品である天草陶磁器の魅力を楽しんでいました。



▲お気に入りの陶磁器を探す来場者



▲水鉄砲作りを教えてもらう児童

御所浦北小学校・祖父母学級 御所浦

おじいちゃん、おばあちゃん、とても楽しかったよ！

10月15日、御所浦北小学校で「祖父母学級」が開かれました。これは、祖父母や地域のお年寄りとの触れ合いを目的に毎年行われているもので、同校の児童や祖父母など65人が参加しました。催しでは、班に分かれてそれぞれに竹馬や竹とんぼ、水鉄砲作りのほか、小麦粉を使った“ただご”やイモのツルを使った“つききんぴら”作り、お手玉遊びなどを実施。子どもたちは、おじいちゃんやおばあちゃんからの手ほどきを受けながら、昔懐かしい遊びや料理作りを楽しんでいました。

「アブラすまし」グッズ販売中 栖本

栖本オリジナル商品第8弾!!

栖本まちづくり協議会では、9月15日から栖本オリジナル商品の第8弾として、「アブラすまし」グッズを販売しています。この商品は、栖本にいたとされるよう怪で、地元ではカタシ（ヤブツバキ）の実を絞る油づくりの名人として祭られている、“油すまし”にちなんで開発したものです。油のしずくをイメージした天草陶石製のキャラクターを、キーホルダーとストラップにしました。現在、栖本温泉センターなどで販売中。詳細は、同協議会事務局（栖本支所・総務振興課内）☎0963-3111へお尋ねください。



▲「アブラすまし」のキーホルダーとストラップは、いずれも1個500円



▲芳證寺で熱心にガイドの説明を聞く生徒たち

修学旅行生による御領町並み散策 五和

鈴木重成公ゆかりの御領を歩く

10月8日、愛知県立知立東高校の生徒27人が、修学旅行の班別体験学習で、御領の歴史や文化をたどる町並み散策を行いました。修学旅行生が散策に訪れたのは、今回が初めて。散策では、地元のボランティアガイドが、約9万年前の阿蘇山の火砕流でできたといわれている凝灰岩“御領石”や石工の技術などを紹介したほか、^{ほつしやう}芳證寺を訪問。ガイドからは、同寺が愛知県出身の鈴木重成公の父母の菩提寺であることなどが話され、学生たちは興味深く聞き入っていました。

天草市民歴史シンポジウム

歴史財産の活用方法を学ぶ

9月23日、天草市歴史シンポジウム「史跡棚底城跡と防風石垣を活用したまちづくり」が、倉岳町の倉岳多目的研修集会施設で開かれ、地区住民など約150人が参加しました。講演では、長浜城歴史博物館館長・中井均氏が「城郭の活用と元気なまちづくり」、熊本大学准教授・田中尚人氏が「防風石垣・コグリの保存、活用について」と題して、郷土が誇る歴史財産の活用方法について講演。また、両氏などによるパネルディスカッションも行われました。



▲「地元の人が正しく理解し、愛すべきものにしてほしい」と語る中井氏

天草キリシタン館・来館者3万人突破

来館3万人目は廣坂さんご家族

7月1日にオープンした天草キリシタン館の来館者が10月17日、3万人を突破しました。この記念すべき3万人目の来館者は、熊本市にお住まいの廣坂夕華さんご家族。この日は、天草に遊びに訪れ、たまたま来館されたとのこと。ご家族には、市から記念品として天草陶磁器や認定書のほか、同館からは1年間の観覧無料券が贈呈されました。夕華さんは、「こんなことになり驚いているが、とてもうれしく思います」と喜びを語っていました。



▲安田市長と御寄館長と一っしょに記念撮影をする廣坂さんご家族

空の日フェスタ

空のイベントに多くの人出

9月23日、『空の日』フェスタin天草空港2010』が同空港交流広場一帯で開かれました。これは、天草空港「空の日」・「空の旬間」実行委員会が、同20日に制定されている“空の日”にちなんで毎年開催しているもの。催しでは、天草地域の小・中学生による絵画コンクールの表彰・展示のほか、ふだんは入ることができない対空通信室の見学などを実施。また、航空チケットが当たる大抽選会も行われ、多くの家族連れなどでにぎわいました。



▲対空通信室の見学で管制官の説明を熱心に聞く参加者

天草市民公開講座

子宮頸がんの予防を学ぶ

10月7日、天草市民センターホールで「天草市民公開講座」が開かれ、約400人が参加しました。同講座は、市と市教育委員会が毎年開催しているもの。今回は、健康についての学習の場を市民に提供することを目的に、熊本大学医学部産科婦人科教授の片渕秀隆氏が「10代から考える子宮頸がんの予防：人類史上初のがん予防ワクチン」と題して講演。子宮頸がんの特徴や若い年齢でのワクチン接種の必要性などが話され、来場者は聞き入っていました。



▲「正しい知識と早期予防が大切」と語る片渕氏

新和町みんなのスポーツ大会

新和

雨にも負けずみんなでスポーツ！

10月3日、「第2回新和町みんなのスポーツ大会」が、新和グラウンドを主会場に開催されました。この大会は、町民の交流と親睦を深めることなどを目的に、2年に1回開催されているもの。この日はあいにくの雨のため、予定されていたグラウンドゴルフとグリーンボールソフトは中止になったものの、ミニバレー競技と小学生によるビーチバレーボール競技は実施されました。選手たちは、雨雲を吹き飛ばすような勢いで、熱戦を繰り広げていました。



▲ミニバレーをする子どもたち



▲ホームラン競争のようす

職域ナイターソフトボール大会

天草

ソフトボールで地域の交流を深める

9月24日、同28日に、「第32回職域ナイターソフトボール大会」が開催されました。これは、大江地域づくり振興会が、ソフトボールを通じて同地域にある職場や団体どうしの交流を図ることを目的に、毎年開催しているもの。大会では、職場や団体のメンバーなどで編成された6チーム・117人が出場し、優勝を旨として熱戦を繰り広げたほか、各チームの“力自慢”選手によるホームラン競争も実施。参加者は、遠くまで飛ぶ打球を見て歓声をあげていました。

「宝の海・夕陽日本一づくり」事業ワークショップ

河浦

夕陽をいかした地域活性化を目指して

10月7日、富津公民館で「宝の海・夕陽日本一づくり」事業ワークショップ（研究集会）が開かれ、富津地区振興会の役員など16人が参加しました。これは、天草西海岸の夕陽を活用し、滞在型の観光客増加と雇用促進を図ることで、地域を活性化しようと開催されたもの。この日は、熊本県立大学の明石照久教授と澤田道夫准教授を講師に迎え、参加者は班に分かれて崎津地区の夕陽スポットの選定や、整備の必要性などを話し合いました。



▲夕陽スポットの選定について話し合う参加者

赤崎地区三世交流十五夜大会

有明

十五夜を通じて世代間の交流！

9月25日、赤崎グラウンドで「第5回赤崎地区三世交流十五夜大会」が開かれ、地区住民約350人が参加しました。これは同地区振興会が、伝統行事を次世代へ継承するとともに、住民が一体となって地区を盛り上げようと開催しているもの。天草ありあけ太鼓や琉球國祭り太鼓の披露のほか、親子綱引き大会や兄弟すもうなどを実施。また、今年度解体される旧赤崎小学校校舎のライトアップも行われ、参加者は秋の夜長を楽しく過ごしていました。



▲すもうを楽しむ子どもたち

部活動で学んだこと

二浦小学校 (二浦町) 6年 五通朱里

私たちの二浦小学校は、全校児童27人です。“二浦元気丸！”を今年のスローガンに掲げ、勉強にもスポーツにも全力でがんばっています。私は大好きなミニバスケットを3年生のときから続けています。年々部員数が減り、今年は8人です。ミニバスケットは10人の選手がいないと大会に参加できません。くやしくて、残念な気持ちでいっぱいだったけど、友だちと大好きなミニバスケットができることは、二浦小にいるからです。先生は、あいさつや荷物並べのことを厳しくおっしゃいます。最近、私はそんなちょっとしたことにも自分で気づき、行動することがとても大切なことだと思うようになりました。



“二浦元気丸”で牛深ハイヤ祭り子ども大賞2連覇!!

ぼくのわたしの学校部活自慢



学童オリンピックでの熱戦の1コマ

目標が達成できるように

本渡北小学校 (浜崎町) 6年 松崎 蘭

本渡北小学校ミニバスケットボール部は、県大会優勝、全国大会出場を目標にして、日々練習に励んでいます。部員一人ひとりがこの目標を達成できるように、夏休みも厳しい暑さの中、一生懸命に練習をがんばってきました。昨年は、県大会で準優勝でした。優勝チームとは1点差で、悔し涙があふれました。しかし、九州大会では3位になることができました。私たちは、先輩たちをこえられるように、プレー以外のふだんの生活態度も向上させています。また、応援してくださる人たちや保護者、毎日指導して下さる先生の期待に応えられるように、そして、自分たちの目標が達成できるようにがんばります。

宝島の健康 よろず屋

田嶋 要作 さん (河浦町河浦・90歳)



◆毎日の楽しみは？

毎朝取っている3種類の新聞を読むことです。新聞は生活には欠かせませんね。また、ハウスにキュウリを30アール作付けしていて、生育状況を2~3日おきに見に行くのも楽しみのひとつです。

◆健康の秘けつは？

健康の秘けつは、特にこれと言って思い当たりません。ただ、兵役に就いたころから、食事は腹八分を守っています。また、ハウスに行き来するのが良い運動になっているのかもしれない。



吉森 可南子 さん (倉岳町棚底・23歳)

歯科衛生士として、市内の歯科医院で働いています。今は仕事に慣れることを最優先にしている、早く1人前になって、患者さんに喜ばれるようにがんばりたいです。それでも、ときどきは中学時代の友だちとカラオケで歌ったりして、盛り上がりたと思っています。



地域の人々とともに

東雲寺保育園 (五和町)

東雲寺保育園(梅本綾子園長・全園児53人)では、「心身ともに健康な子どもを育てる」「何事にも意欲的に取り組む子どもを育てる」「思いやりと助け合う心をもった子どもを育てる」という保育目標のもと、さまざまな行事の中で地域との交流も大切にしています。お祭りごっこでは、手作りの獅子を持ち、「わっしょい、わっしょい」の掛け声でおみこしを担いでまわると、そのほほ笑ましさに地域の人たちも集まってきてお参りされ、声をかけてくださいます。このように、毎年楽しみにしている伝統行事を、これからも地域とともに伝えていき、心身ともに健康でたくましい子どもたちに育ててほしいと願っています。



運動会楽しかったよ!!

温かい“つながり”の中で

新合保育所 (河浦町)

新合保育所(倉田清美所長・全園児19人)では、豊かな自然に囲まれた、小さい保育所ならではの家庭的な雰囲気の中で、月刊絵本・園文庫・移動図書館で絵本に親しみ、菜園ではさまざまな野菜を育てて、給食でおいしくいただくなど、豊かな想像力や感性をはぐくむ保育を目ざしています。10月の運動会では、93歳のおばあちゃんをはじめ、多くの地域住民に参加していただき、楽しいひとときを過ごしました。また、隣接する新合小学校とは、音楽会や童話発表会への招待など、年間を通して交流しています。これからも、地域との温かい“つながり”を感じながら、子どもたちには元気に育ててほしいと願っています。



みんなで作ったおみこしと獅子を三江神社でお披露目

地域づくりコーナー

日本一を目ざす、芹生の郷の柿づくり

手野まちづくり振興会 (会長 松村一比孝)

人が動く 地域が動く 天草が動く

手野地区は、昔から田芹が多く自生していたことから「芹生の郷」と称され、内野川の恵みを受けながら、流れ豊かに発展してきた水清き田園地帯です。

手野まちづくり振興会では、日本一を目ざす「芹生の郷の柿づくり」をテーマにした取り組みを始めました。その一つは、つるし柿にする

と味よし、色よし、姿よしの三拍子そろった絶品の渋柿を、「芹生柿」として県を代表する1級の特産品にしようというものです。現在は、生産組合「芹生園」を立ち上げ400本あまりを栽培しているほか、パッケージ開発や商標登録の検討にも入っています。もう一方は、手野の秋を彩る景観づくりです。こ

このように、私たちが進める「芹生の郷の柿づくり」は、日本一の地域づくりを目ざして、いま着々と進んでいます。



▶ 芹生柿のしおり

健闘が光った熊本県民体育祭！

天草市長 安田 公寛



スポーツの秋を迎えた9月18日・19日の両日、荒尾市を主会場に県民体育祭が開催されました。

私もいくつかの競技を応援してまいりましたが、今回はボウリング競技とバスケットボール男子の準優勝をはじめ、各種目で健闘された結果、天草市として初の総合5位というすばらしい結果をおさめる事ができました。選手や役員、応援の皆さん、本当にご苦労さまでした。

スポーツの振興は、各種目の競技力の強化や競技人口の底辺拡大などとともに、市民皆スポーツ、生涯スポーツ普及の取り組みが大切です。近年の

健康志向から、朝夕、ご夫婦やお友だちと散歩やジョギングなどを楽しまれる姿もよくお見かけします。私も走ることが好きですが、運動に取り組まれる人が増えるのは、たいへん喜ばしいことです。3年後には天草地域で県民体育祭が開催されますが、この大会は各郡市を代表する選手や関係者が参加する県内最大級のスポーツイベントです。天草市の成績も今回5位ということで、総合3位も目前になりました。

今後、選手強化にも力を入れながら、地元開催の成功に向けて準備を進めたいと思います。



きら
煌めく人
たち

すべては子どもたちのために

つえこ
本田 津枝子 さん (新和町小宮地・50歳)

新和町小宮地に住む本田津枝子さんは、小宮地公民館で放課後児童クラブ「ひだまり児童クラブ」を運営するほか、新和小学校では毎週2回、放課後子ども教室「ひだまりクラブ」を開いている。本田さんがこれらの事業を行うようになったきっかけは、今では自身のライフワークと位置づけている本の読み聞かせ活動だ。これは9年前、当時新和小学校のPTAの役員をしていた本田さんが、校長からの要望を受け「子どもがお世話になっている学校のために、何か役に立つことが

できれば」と始めたもの。その後、本田さんはこの活動を契機にして、地域子ども教室や週末支援事業などの取り組みのほか、市内で学童保育の指導者も経験。自身も保育士の資格を持つていたこともあり、地域や小学校などの協力を得て、両クラブを発足させた。これらの取り組みは、目的や事業の位置づけ、提供内容などに多少の違いはあるものの、地域の子どものために「見守る」という点は同じ。子どもが犠牲になる犯罪や事故が相次ぎ、子どもを取り巻く環境も大きく変化する中、本田さんは放課後の子どもたちを見守る「目」の役割を担っている。

一方、本田さんはこれらの活動のほか、小宮地地区振興会の役員として、各種イベントの企画・運営に携わったり、また、今年7月からは市の社会教育委員を務めるなど、活躍の場をさらに広げている。「すべては子どもたちのため」。その温かい思いが「ひだまり」をつくり、今日も子どもたちを優しく包んでいる。

ハッピー HAPPY BIRTHDAY パースデー
今日で1歳になります



このは
宮崎 心ノ羽 ちゃん
本渡町本泉
父・圭輔さん
母・望美さん

いっしん
一心兄ちゃん、心花姉ちゃんだあいすき♡



りゅうどう
畑中 龍童 くん
五和町二江
父・勇大さん
母・梨沙さん

みんないつもお世話になってます。元気に育ってね。



ふうま
長野 颯真 くん
本渡町本戸馬場
父・真司さん
母・陽子さん

わが家のかわいいアイドルです♡♡



そら
山下 大空 くん
佐伊津町
父・祥吾さん
母・弥生さん

おじいちゃん、おばあちゃん、いつも遊んでくれてありがとう。



しゅうた
田川 修大 くん
本渡町広瀬
父・純也さん
母・みきさん

おいしいごはんをありがとう☆これからますます大きくなります♪



としき
山口 寿貴 くん
諏訪町
父・寿也さん
母・美貴さん

近所のおじいちゃん、おばあちゃん大好き♡いつもありがとう！



いおり
浦田 伊織 くん
本渡町広瀬
父・義浩さん
母・恵さん

よく食べ、よく動き、よく笑う！！わが家の元気印です♡



はる
岩崎 遥 くん
本町下河内
父・潤さん
母・あゆみさん

じいちゃん、ばあちゃん、いつもありがとう♡



ゆな
藤原 有那 ちゃん
五和町御領
父・達也さん
母・弘美さん

お散歩大好き！みんな、いつも遊んでくれてありがとう♡

11月で満1歳になるお子さんを募集します！

- 応募期限=11月10日(※)まで(必着)。
- 応募方法=写真裏にお子さんの住所、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、電話番号、コメント(30字以内)、保護者名(父・母)を記入し、〒

863-8631(住所記載不要)天草市役所秘書課へ郵送または持参してください。なお、写真はお子さんが大きく、鮮明に写っているものをお願いします。また、写真の掲載は9人まで(応募者多数の場合は抽選)とし、応募写真は返却しません。

読者のつぶやき



▲チュチュンごつ逃げる猫

10月1日号「市政だより天草」の編集後記に、猫が「チュチュンごつ逃げます」とありました。生まれも育ちも天草の私ですが、初めて見ました。おもしろいと思ってお尋ねします。

ペンネーム：Y・Nさん

家の近くの山には栗の木があります。小粒で甘い栗なんです。5・6年くらいイノシシに先を越されています。そこで、今年こそはと思い立ち、毎日見回りを実施。無事堪能することができました。ただ、代わりに甘柿の木がむざんな姿に…。

ペンネーム：やまんばばあさん



皆さんからのお便りを募集しています！

身近であったできごとや、季節に思いをはせることなど、ぜひご応募ください。原稿は100字程度で、応募者多数の場合は選考のうえ掲載します。

※表記などを統一するため、趣旨を変えず文章を直すこともあります。

- ▶応募期限=11月10日(※)まで(必着)。
- ▶応募方法=寄稿文をまとめたものに、ペンネームと住所、氏名、性別、電話番号を記入し、〒863-8631(住所記載不要)天草市役所秘書課へ郵送または持参してください。



～御所浦町の伝統料理「たこめし」～

材 料 (約4人分)

米 …………… 2合
生ダコ …………… 100g
(足の部分を2本くらい)
大根 …………… 100g
酒 …………… 大さじ1
薄口しょうゆ …………… 大さじ1
水 …………… 2カップ

作 り 方

- ①米は洗っておく。
- ②生ダコは塩もみして、内臓などを取り出す。足先の細い部分は少し切り捨て、細かく切る。
- ③大根の皮をむいて、1cmくらいの輪切りにする。
- ④①と②、酒、薄口しょうゆに水2カップを入れて混ぜる。
- ⑤③を米の上にならべて炊く。炊き上がったたら、大根を取り除く。

御所浦町の伝統料理である「たこめし」。生のタコを使うのが特徴で、タコの色素が溶け出して赤飯のように見えることから、お祝いするときにも出されています。タコのだしとうまみが、十分に楽しめる味わい深い一品です。

皆さん、ぜひお試しください。

提供：市食生活改善推進員協議会



天草コレジヨ館開館20周年・
天草キリシタン館オープン記念シリーズ④

天草島原の乱② ～天草四郎～

天草四郎は、天草・島原の乱が起こった当時15歳で、出生地はこれまで宇土説や大矢野説がある一方、鍋島藩や細川藩の記録に長崎という記述があり、長崎出身だった可能性が指摘されています。容姿については、当時の証言をもとにした記録によれば、髪を後ろで束ね、鉢巻をして額に十字架をつけ、白い羽織はおりに裁付袴たつつけばかまという出で立ちで軍を指揮していたようです。また、尾張徳川家の蔵書を集めた蓬左文庫ほうさの「天草陣雑記じんざつき」には、四郎に妻がいたと受け取れる記述があります。原城本丸の四郎館に女性がいたこともわかっていることから、関連性が推測されています。

神の子として、さまざまな奇跡を起こして人々の尊敬を集めたとされる四郎。これまでとは違う一面が判明していますが、今なお謎多き存在です。



▲「天草四郎屏風」の一部
(北 八代・作＝天草キリシタン館所蔵)

【素】さんのご質問にお答えします。【素】さん、気のせいです。正直に申しますと、私はただ今「食欲の秋」を満喫中であり、どうにも止まりません。最近では、テレビコマーシャルに出てくる「食べたことをなかつたこと」にできるサプリメント」に望みを託そうと思っています。【海】

9月1日号の編集後記で、【海】さんが「減量大作戦」を宣言しました。最近、私の目には【海】さんに、この作戦の効果が出ているように見えるのです。ただ、尋ねようにも何の変化もなかったときのことを案じて、二の足を踏む私。やはり、本人からの報告を待つことにします…。【素】

先月、地元で秋の祭りがありましたが、強烈な暑さでした。少しでも焼けないように努力をしたのですが、汗が油系なので鉄板で焼いたように真っ黒。せつかくの、よそ行き面が台なしになりました。おかげで暗いところでは、ワイシャツが歩いて見えます。【凡】

